

第6章 総合評価

第6章 総合評価

第5章において示した各環境要素の評価結果を整理した総合評価は、表6-1に示すとおりである。

設定した複数案（A案（煙突59m、東寄り）、B案（煙突59m、西寄り）、C案（煙突80m、東寄り）、D案（煙突80m、西寄り））について、大気質はいずれの案も環境基準値を下回っており、影響の違いはないものと考えられる。

また、景観への影響は、A案（煙突59m、東寄り）が他の案に比べ最も小さく、D案（煙突80m、西寄り）が他の案に比べ最も大きいと考えられる。

表6-1 総合評価

環境要素	項目	A案 (煙突59m 東寄り)	B案 (煙突59m 西寄り)	C案 (煙突80m 東寄り)	D案 (煙突80m 西寄り)	
大気質	最大着地濃度地点 の将来濃度 (年平均値) (寄与濃度+BG濃度)	二酸化硫黄 (ppm)	0.001	0.001	0.001	0.001
		二酸化窒素 (ppm)	0.011	0.011	0.011	0.011
		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.025	0.025	0.025	0.025
		ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	0.021	0.021	0.021	0.021
景観	計画施設の煙突高さの仰角(度)	12	17	17	23	
	計画施設の水平見込み角(度)	27	29	27	29	

注1) 二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及びダイオキシン類の予測結果は、全ての案について、環境基準値を下回っている。

2) 煙突高さの仰角及び水平見込み角は、値が小さいほど見た目の大きさが小さいことを示す。